

4月22日の土曜授業

杉並区立杉並第十小学校
校長 山口 京子

4月の土曜授業では、ICT機器を使った授業の公開を行いました。教科の特性や子供たちの発達段階に合わせて、ICT機器が効果的に使えるよう工夫しました。地区班顔合わせ・地区班下校では、地域安全マップを使って危険な個所を確認したり、御近所同士の交流を深めたりしながら、班でまとまって安全に下校することができました。ご協力いただいた保護者の皆様、どうもありがとうございました。



1年生 算数「いくつかな」

算数「いくつかな」では、10までの数の読み方や書き方を学習しました。子供たちの手元にある教科書と同じページをデジタル教科書で大きく写し、どの子にも分かりやすい授業を目指しています。



2年生 国語「春がいっぱい」

国語「春がいっぱい」では、自分が見つけた春を感じることを文章で書き、発表しました。生活科の蚕糸の森探検の経験も思い出しながら文章を考えました。電子黒板に写しながら発表しました。



3年生 社会「学校のまわりのようす」

学校の周りにはどんなものがあるか予想し、実際に学校の周辺を見に行きました。タブレット端末を使って町の様子を撮影し、画像を振り返りながら意見を交流することができました。



4年生 社会「通信指令室の役割」

「消防の仕事と人々の協力」の学習をしています。「119番に通報したらどこに繋がるのか」を考えながら、webを活用して、災害情報救急センターの役割を考えました。



5年生 国語「漢字の成り立ち」

スライドショーを使って、漢字の部首の学習を行いました。次々と出てくるたくさんの部首の名前を元気に答えて覚えました。

漢字辞典やゲームを通して、部首の意味やいろいろな漢字集めをして理解を深めました。



6年生 算数「対称な図形」

いろいろな図形に直線を引き、折ってぴったり重なるかどうか、デジタル教科書や「学習探検ナビ」のICTツールを活用して確かめました。線対称な図形の性質について、理解を深めることができました。

地区班顔合わせ・地区班下校

地域が同じ保護者と児童が集まり、お互いの顔を知るという目的で、3校時は、地区班ごとに集まり、顔合わせと集団下校を行いました。顔合わせは、6年生が同じ地区班の1年生を教室へ迎えに行くことから活動が始まります。下級生に優しく、地域でも活躍できる高学年への成長が期待されています。教室では、地区班全員で地図を見ながら地域の危険個所を確認しました。通学していて危ないと感じたことや場所について、児童からも積極的に発表する姿が見られました。

集団下校では、PTA 地域安全委員の保護者の皆様や6年生の班長を先頭に、安全に下校しました。多くの保護者の皆様に参加していただき、よい交流の時間になりました。ありがとうございました。

